

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立東与賀中学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校生徒の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

令和6年4月18日(木)

■ 調査の対象学年

中学校3年生生徒

■ 調査の内容

(1) 教科に関する調査(国語、算数・数学)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。
 - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

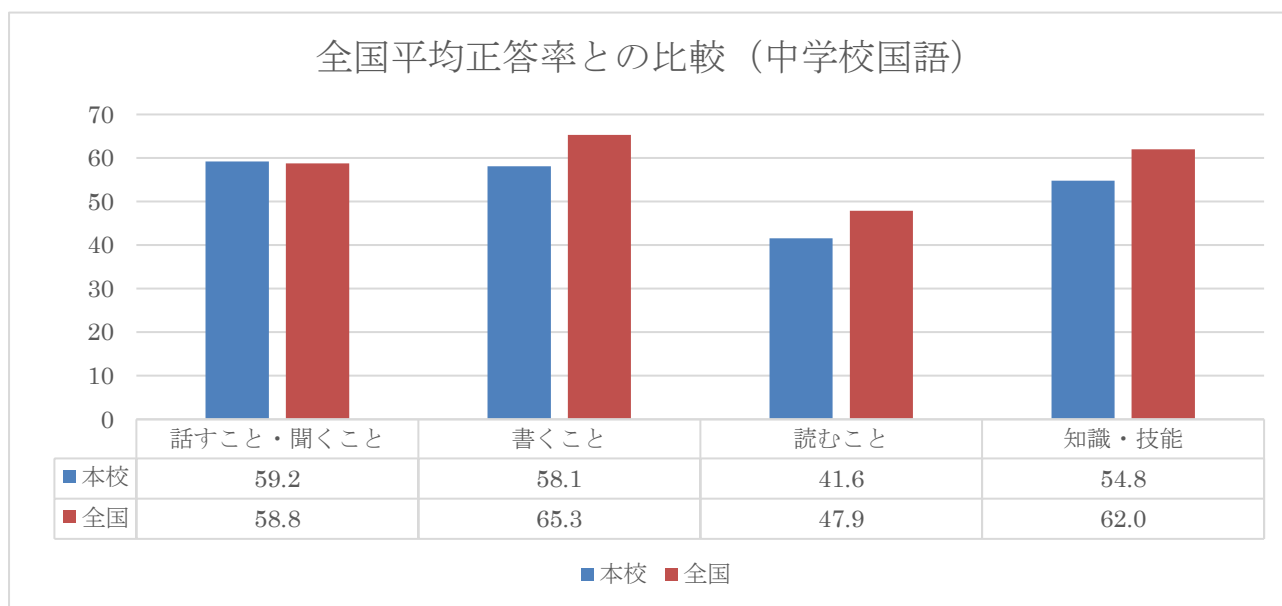
児童(生徒)に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 学習に対する興味・関心、授業内容の理解度、 基本的な生活習慣、家庭学習の状況 など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、 学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

■ 調査結果及び考察について

全国学力・学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご理解の上、ご覧ください。

■ 調査結果及び考察

1 国 語



(1) 結 果

「話すこと・聞くこと」に関しては、全国平均を上回っていますが、そのほかの領域では、全国平均を大きく下回りました。

(2) 成果と課題

今回の調査で、「話すこと・聞くこと」の正答率が全国平均を上回りました。また「思考・判断・表現」の項目では、1年次には県平均正答率が-2.8 ポイントでしたが、今回の調査では、-0.4 ポイントと、日頃から『学び合い』において他者の考えに触れ、自分の考えを見直しまとめるという経験を積んでいることによる成果が表れていると思われます。

課題としては、語彙の間違いや読み間違いが多いことです。特に「言葉の特徴や使い方に関する事項」が全国平均より12ポイント下回っており、演習が必要と考えられます。日頃の授業から演習に取り組み、知識を確実に積み重ねていく必要があります。

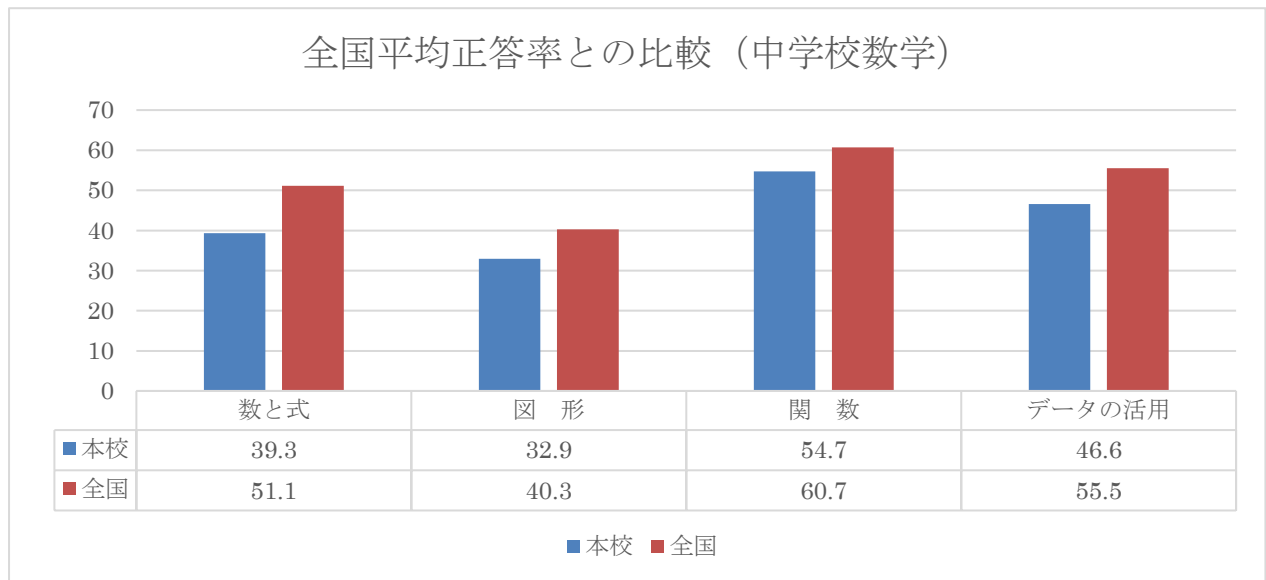
(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 子どもが主体的に学べるように、授業の在り方を工夫することで、子ども同士が話し合いながら、深く学んでいけるようにします。
- 目的や意図に応じて、自分の考えとその理由を明確にしながら書く機会を増やします。
- 基本的な知識・技能の向上のために朝自習プリントで毎日問題を解く習慣をつけます。

【ご家庭では】

- 会話の時間を大切にしましょう。話している中で間違った言葉遣いや文法に気づくことがあるかもしれません。また、お子さんが今日あった出来事を話すことで説明する力が自然と身に付いていきます。
- 読書を大切にしましょう。文学・科学・歴史・地理・芸術…いろいろな本を読み、より多くの表現や用語にふれることで、語彙力を高め知識の幅を広げることができます。地域の図書館など定期的に行くことも、お子さんに読書習慣を身に付けさせる上でおすすめです。



（１）結 果

全項目で、全国平均を下回る結果となり、「思考力・判断力・表現力」の観点の問題では、全国平均を大幅に下回りました。

また、無解答率を見ると、16 問中 10 問で全国平均より少なく、問題に取り組む姿勢は良いと言えます。

（２）成果と課題

1 年時より数学に対して苦手意識が強い生徒が多かったため、解ける問題を増やせるように、日頃から基礎の定着を目指して活動してきました。1 年時には「知識・技能」の項目で、県平均正答率が-4.1 ポイントでしたが、今回の調査では、- 2.6 ポイントと、日頃の活動の成果が表れていました。また、確率を求める問題や一次関数のグラフの問題、図形の角度の問題では、全国平均正答率を上回っており、解ける問題が増えてきています。しかし、等式変形の問題で-17.5 ポイント、四分位範囲の問題で-16.0 ポイントであり、まだ定着が不足している部分もあります。

記述式の問題では、全国平均正答率を 13.0 ポイント下回っていたため、今後は、「思考力・判断力・表現力」の項目にもさらに力を入れて取り組む必要があります。日頃の授業から、なぜその答えになるのか理由を考えたり説明したりする活動に粘り強く取り組んでいくことが必要です。

（３）学力向上のための取り組み

【学校では】

- 引き続き、朝自習プリントや日々の小テストなどを繰り返し、基礎の定着を図ります。
- 授業の『学び合い』の中で、説明する活動を多く取り入れ、「思考力・判断力・表現力」を伸ばします。

【ご家庭では】

- その日に学習した内容の復習や解いた問題をもう一度解くといった学習を行いましょう。
- 分からなかった問題があれば、そのままにせず、印をつけるなどして、後から先生や友達に聞いたり、調べたりできるようにしましょう。分からないまま放置するのが一番危険です。
- お子さんのワークやプリント等の宿題の様子やテストをご覧になって、たくさん励ましや称賛の言葉をかけてください。

3 生活習慣や学習環境等に関する質問調査

(1) 結 果

※「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」「どちらかと言えば当てはまらない」「当てはまらない」のうち「当てはまる」と回答した児童(生徒)の割合。

《生活習慣・自己肯定感・規範意識について》

調査項目	本校 %	全国平均 %
朝食を毎日食べていますか。	80.8%	79.1%
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	28.2%	34.9%
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	44.9%	55.3%
自分にはよいところがあると思いますか。	32.1%	40.4%
将来の夢や目標を持っていますか。	26.9%	36.1%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	56.4%	68.6%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	83.3%	77.5%

就寝、ならびに起床の時刻が定まっていない生徒が全国平均よりも6～10ポイント下回っており、家庭における生活のリズムづくりができていないことが気になります。また、将来の夢や目標についての項目では肯定的な回答をした生徒が全国平均よりも低い結果となっていました。

《家庭学習の様子》

調査の項目	本校%	全国平均 %
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか。「3時間以上」	5.1%	9.2%
「2時間以上、3時間より少ない」	25.6%	22.5%
「1時間以上、2時間より少ない」	28.2%	32.6%
「30分以上、1時間より少ない」	33.3%	18.4%
「30分より少ない」	7.7%	10.4%
「全くしない」	0.0%	6.6%

調査の項目	本校%	全国平均 %
普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。「4時間以上」	12.8%	16.6%
「3時間以上、4時間より少ない」	17.9%	12.4%
「2時間以上、3時間より少ない」	12.8%	19.9%
「1時間以上、2時間より少ない」	21.8%	21.4%
「1時間より少ない」	20.5%	17.7%
「全くしない」	14.1%	11.2%

調査の項目	本校%	全国平均 %
普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）「4時間以上」	17.9%	18.2%
「3時間以上、4時間より少ない」	15.4%	14.3%
「2時間以上、3時間より少ない」	17.9%	23.4%
「1時間以上、2時間より少ない」	32.1%	23.3%
「30分以上、1時間より少ない」	9.0%	10.7%
「30分より少ない」	5.1%	5.8%
「携帯電話やスマートフォンを持っていない」	2.6%	3.4%

家庭学習について、全く家庭学習をしていないという生徒は 0%であったものの、全体の学習時間は全国平均よりも低く、1時間未満の生徒が4割以上という結果になっています。また、普段からテレビゲームや、携帯電話、スマートフォンなどを使用し、ゲームをしたり、SNS や動画視聴をしたりする時間が3時間以上と回答した生徒が多く、家庭で多くの時間を費やしているという結果になっていました。

(2)改善に向けての取り組み

【学校では】

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、『学び合い』の視点を取り入れた日々の授業の中で、集団で課題達成を目指しながら、学習に前向きに取り組む雰囲気づくりを行います。そこから、日々の家庭学習にも目を向けさせ、テスト前は家庭学習を計画的に進めるように具体的な予定を立てさせ、家庭学習の状況を担任等で把握しながら、学力向上に向けて適宜アドバイスをしていきます。
- 自己肯定感について項目向上に向けて、行事をはじめ、日々の学校生活の中で出番・役割の場を設け、学校全体の中で諸活動をととして、生徒を承認する環境を大切にしていきます。

【ご家庭では】

- 「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムを大切に、規則正しい生活と家庭学習の定着を図ることは、極めて大切なことです。ご家庭で情報機器端末（携帯電話やタブレット）などの使用のルールを設けるなどして、就寝時間が遅くなり生活のリズムが崩れることがないようにご指導ください。
- 佐賀県教育委員会から配布された「家庭学習の手引き」をご覧になり、家庭学習の習慣化に努めるとともに、家族での対話の中からお子さんの小さな「がんばり」を見つけほめてください。また、将来の夢や目標について家族で話をする機会を設け、そこから日々の前向きな学習につなげてください。